

働くとは何かを考える

－ EMPOWERMENT(エンパワーメント 能力強化)を目指して－

経済同友会、学校と企業・経営者の交流活動推進委員会委員
林 明夫

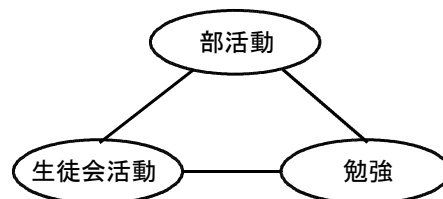
1. はじめに

(1)自己紹介

- (ア)株式会社開倫塾代表取締役社長
- (イ)マニー株式会社 社外取締役
- (ウ)開倫ユネスコ協会 会長
- (エ)社会福祉法人両崖福祉会特別養護老人ホーム清明苑理事
- (オ)学校法人有朋学園東日本高等学院評議員
- (カ)CRT 栃木放送「開倫塾の時間」毎週土曜日午前9時15分～25分担当17年目
- (キ)日本NIE学会会員
- (ク)日本ベンチャー学会、社会ベンチャー推進協議会大学教育学会 会員

(2)私の中学時代

- (ア)足利市立山辺中学校
- (イ)「自他共栄」(自分も他人も共(とも)に栄えよう)柔道部の椎名弘先生の教え
- (ウ)「ブルドック魂」(一度食いついたらはなすな)クラス担任岡田忠治先生の教え



(3)私の高校時代

- (ア)栃木県立足利高等学校
- (イ)「一所懸命」(一つの所で命を懸ける)マラソン大会で教わる
- (ウ)大学へいくため一日中勉強

(4)私の大学時代

- (ア)慶應義塾大学
- (イ)法学部法律学科(栃木県学生寮、寮生活も楽しい)
 - ①犯罪学(犯罪の原因と対策、刑務所見学→刑務官の言葉「学校でちゃんと勉強していればこんな所にこなくてすむ人が大部分なのに・・・」)
 - ②被害者学
 - ③「いつも最悪のケースも考える」のが法律を学んだ人の心構え
- (ウ)「独立自尊」福沢諭吉の伝記(福翁自伝)を読んで感銘を受ける。
- (エ)22歳から30歳まで8年間、慶大司法研究室の研究生として司法試験の勉強。

(5)社会に出てから(自己学習能力の育成)

(ア)「問題解決」が全て

(イ)今まで勉強したことを基礎に自分で勉強し直し、自分で考え、自分の力で問題を解決し続ける能力が大事

(ウ)そのために勉強し続けることが求められるのが社会人。

(6)いつも5年先を考えて準備しよう(生涯現役)

(ア)「泥縄人生」「泥縄生活」は余りにももったいない生き方。

(イ)5年間準備すれば、悔いのない人生が送れる。5の倍数の年になったら次の5年間の準備を。

(ウ)ただし、いくら準備しても思うとおりにはならないことも多い。やり直しはいつでもできる。めげないこと。(十分悔い改めた上で、そのときは明るく再出発しよう！)

2. 働くことの心構え

(1)働くことは「収入」を得ること。

(ア)収入を得て自分の力で生活するため。(自分の収入の範囲内で生活するため)

(イ)「ディーセントワーク」をめざそう。収入が確保された上で自分自身の自己実現の要求を満たす仕事につこう。

(ウ)「すべての若者にディーセントワークを」(国連 ILO の基本目標でもある)

(エ)「独立自尊」

(2)「収入」を得るとは、世の中の「お役に立つ」こと。

(3)「お役に立つ」とは、お客様の「問題解決」になること。

何が「問題」か、何が「解決」かを考えること

(4)ただし、「法令違反(ルール違反)」は許されない。

(ア)「公正さ(フェアであること)」が仕事の絶対条件。

(イ)何がルールかを知ること、何がルール違反かを知ること。自己学習しかない。

(ウ)そのために「新聞」も役に立つ。

(5)会社は原則倒産。

昨日のように今日があって、今日のように明日があると考えていると、明後日(あさって)はないのが企業。

(6)「時代に合った企業」のみ生き残る。

→「方向性」が最も大事。

(7)そこで、働く人には常に「やる気」と「時代に合った仕事をする能力(スキル)」をもつことが求められる。

(8)時代に合った「雇われる能力(エンプロイアビリティ)」を身に付けよう。

－「結果の出せる仕事能力」とは－

(ア)「トップマネジメント(経営幹部)」としてのエンプロイアビリティ

時代を読み、企業の使命、方針を示し続ける能力。

(イ)「ミドルマネジメント(現場責任者)」としてのエンプロイアビリティ

社員の能力を引き出し、目を輝かせて仕事をしてもらう能力。

(ウ)「一般社員」としてのエンプロイアビリティ

お客様にサービスや製品を提供する能力。

(9)目を輝かせて「仕事」に打ち込もう。

－今やっている仕事の意味、使命(ミッション)を知ろう－

何のためにこの仕事をするのかを考え続けること(お客様のための心。)

(10)社会人としての生活の基本。

(ア)自律した生活－自分のことはすべて自分で行う(収入の範囲内で計画的に支出を)

①食事 ②洗濯 ③掃除 ④ゴミ捨て ⑤修理 ⑥買い物

(イ)自己責任の原則－他人のせいにはしない(他人の悪口を言わない)

→すべては自分の責任。

(ウ)心の健康管理, 身体健康管理

①心も身体も病気にならないように「予防」を, 病気になったらすぐに直す「早期治療」を。

②自分だけではなく家族やまわりの人々の健康にも気を配ろう。

③ゆっくり食べよう。朝食は抜かない。

(エ)10～20分前に職場に到着すること－時間前に元気に目的地に到着するのも能力－

①夜は12時前に眠ろう。

②TVゲームはほどほどに。Lock 音楽もほどほどに。ケータイもほどほどに。

③朝は早く起きよう。

④余裕をもって家を出よう。

⑤よく考えて行動すれば、必ず時間は守れる。

(オ)事件や事故を自分で起こさない。巻き込まれないことも。－予防が大事－

(11)「仕事」の仕方(世の中の「お役に立つ」やり方)はいろいろ。

(ア)会社員(役員も含む)、自営業

(イ)公務員(①地方公務員 ②国家公務員 ③国際公務員)

(ウ)NPO(非営利組織), 社会起業

(エ)ボランティア活動にも参加しよう。

(12)「躰(しつけ)」を身に付けよう－企業が一番困っていることは、「躰」が身に付いていないこと

－

「躰」とは

(ア)美しい立居振舞い(たちいふるまい)

(イ)敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)

①「です」「ます」調で話すことができる。②乱暴な言葉を口にしない。

(13)「コミュニケーション」能力を。

(ア)プロフェッショナルとは、丁寧に分かりやすく「説明」できる人。

(イ)相手の言うことを最後まで十分聞くことも能力。

(14)「IT」能力を。

(ア)「知識社会(Knowledge Society, ナレッジ・ソサイアティ)」に備えよう。

(イ)コンピュータが使いこなせなければ仕事にならないことが多い。

(15)「英語」能力を。

(ア)経済の自由化は「人の移動」を伴い、「人の移動」のさかんな国では「英語」によるコミュニケーションが仕事の上で不可欠。

(イ)英語が使いこなせなければ、仕事にならないこともどんどん多くなる。

(16)収入の範囲内での生活を。

(ア)収入の10%は貯金を心掛けよう。

(イ)お金を借りないこと、借りたら必ずすぐに返すこと。

仕事をする上でのコツ

★「日々是改善(ひびこれかいぜん)」ー 昨日より今日、今日より明日、少しずつよくしようー

(17)「メモ」を取り続けよう。

(ア)「メモ」は繰り返し読み直し、しっかり身に付けよう。

(イ)「メモ」を自分のものにする人は立派な仕事ができる。

(ウ)「メモ」を身に付けるためには**夜の復習が大事**

(18)「段取り」を考えよう。

(ア)「仕事の**手順**(順序)」を頭に入れて1日をスタートしよう

(19)競争相手から学ぼう。

(競合比較)競争相手のよいところを素直な心で学ぼう。

(20)ベストプラクティスのベンチマーキング(優れた人から学ぼう)。

(ア)社内ベストプラクティス

同じ会社の人の中で優れている人から学ぼう。

(イ)同業他社のベストプラクティス

同じ業界の優れている人や会社から学ぼう。

(ウ)異業種のベストプラクティス

異なった業種の優れている人や会社から学ぼう。

*物事をやるときには自分の思いついたことをすぐにやると失敗することが多い。まず競争相手や優れた人から学んでから、よく自分の頭で考えて少しずつ実験を繰り返しながら自分のところでもやってみよう。

他人から勉強することが大事。

このときは、他の欠点は見ないようにすることがポイント。

3. 夢や希望をもち、将来を考える上で大切なこととは

(1)「新聞」を毎日腰を落ち着けてじっくり読み、世の中の動きを知ること。

(ア)よいTV番組、映画、雑誌も

(イ)インターネットでも質の高い情報をおかしなH.Pは見ない)

(ウ)**新聞を1日1時間読んで考えよう**

新聞は世の中のことをじっくり知るのに役に立つ。世の中が今までどのように動いてきたのか、今どう動いているのか、これからどのように動くのかを知って、自分はどうするかを考えよう!

(2)「読書」をし、深く「考える力」を身に付けること。

ー新聞や教科書を参考に、「読書」に値する本を選ぶこと

(ア)「書き抜き読書ノート」のすすめ→気に入った言葉や文章はノートに書き写しておこう。

(イ)「論語」や「古典」を声に出して読んでみよう

(3)「アジア」のよさ、「日本」のよさ、「千葉」のよさ、「幕張」のよさ、「家族」や「友だち」「自分の出身校」「自分」のよさに気付くこと。(「日本」,特に「東京」は世界の人々のあこがれの地)

ー解決し克服しなければならない問題にも気付くことー

- (ア)よいところ(よさ)を見出し、大切にしよう。
- (イ)誇りをもって生きよう。
- (ウ)「よいところめぐり」で楽しい生活を(自分に合った)
「ライフスタイル」(自分の理想の生活)を考えよう
- (4)人生における選択の幅を広げるために「勉強」を。
- (ア)偏差値が高いほど、学校選択の幅は広い(選べる学校が多い)
- (イ)勉強をすればするほど、職業選択の幅は広い(選べる仕事が多い)
- (ウ)いつまでも自分の夢や目標を追い求めて生きることができる。
- (5)今中学校で習っている勉強は、世の中に出てすべて役立つ。
- (ア)興味のあることは、教科書を越えた勉強を。(勉強に遠慮は要らない。)
- (イ)高校入試のための受験勉強に積極的意味を見出そう
- (a)義務教育9年間の総仕上げ—あやふやであった知識を受験勉強中に確実に身に付けよう。
- (b)高校入学後の準備も少しだけしてしまおう。
- (ウ)高校に行っても勉強しつづけよう。
- (6)一生勉強，一生青春。
- (「相田みつを」先生の言葉)、「会った人はみんな友達」(「石川洋」先生の言葉)
- (7)「自己学習能力の育成」を。(自分で学習する能力を身に付けよう)
- (ア)早目早目の準備が豊かな人生に繋がる。
- (a)小学時代の準備が中学時代を決める
- (b)中学時代の準備が高校時代を決める
- (c)高校時代の準備が大学時代を決める
- (d)大学時代の準備が大学院や社会人になってからの時代を決める
- (イ)自分の人生とは何か、自分のよいところ、大切にしたいものとは何かを常に考え、大好きなことをしながらも、いつも時代の変化を読みながらいつも一歩先の準備を怠らない。そこに至る前にだいたいの準備をし終える
- (ウ)これからの人生は120年。どう充実させていくかは、このような心掛けしだい
- (エ)そこで必要なのは新しいことを自分で学ぶ力、つまり「自己学習能力」
(まずは1分でも多く机に向かう能力を身に付けよう。)
- (8)「感謝の心」をことばや態度に表そう。—黙っていても伝わらない—

今日はお話を聴いて頂き有り難うございました。

感謝

健康第一。
心の安定、平安第一。